

# 河川清掃の進捗状況

岡田 邦男会員

8月20日に水辺のNPOが発足し東京都の認可を得ました。ちよだりバーサイドプロジェクト石渡会長と私で、千代田区の樋口区長を訪問し、お茶の水RCが主催し神田川と日本橋川の河川清掃と佐久間橋児童遊園の公園アドプト活動をする旨の報告をし、区への協力依頼をして参りました。先般お話しした通り、和泉橋出張所前の秋葉原の和泉橋の防災船着き場は佐久間町一丁目町会の管轄で、町会長の松本さんは神田RCの本年度の幹事でいらっしゃいます。佐久間町一丁目町会は10軒しか家がなく、とても町会では清掃活動ができないとのことでしたので、当クラブが主幹をして行い、町会にはご負担をおかけしませんので是非ご協力頂きたいとお願いしたところ、松本町会長には快く引き受けて頂きました。当クラブと佐久間町一丁目町会の連名で、佐久間町児童遊園の公園アドプト活動を行う契約を結ぶために、来週の火曜日に公園課に出向いて詳細を詰めて参りたいと思います。

今、コロナ禍で中止になっていますが、秋葉原の生活改善推進活動があり、秋葉原の管轄の町会が、月に一度、合同パトロールを行い、ポイ捨て禁止、違法ビラ禁止の活動を行っていますが、そこの連合町会とも連携し、日本橋川と神田川の河川清掃、佐久間町児童遊園のアドプト活動を、和泉橋出張所を通して声掛けしご参画頂けるように考えております。10月以降に実施できればと思っております。西村会長には公園課に出向いて頂き、アドプト契約締結の運びとなります。

## 自己紹介

今本 義子新入会員

私は神保町のブックハウスカフェという子どもの本の専門店を経営しております。今はインターネットで本を買うことができますので、書店とは何か考えることもあります。毎日楽しく仕事をしております。絵本は子供たちが手に取って選ぶことができる専門店があることが大事だと思い1万冊を取り揃えています。カフェは60席あり比較的大きなお店です。

実家の北沢書店は120年本屋を営んでおります。祖父が明治35年に開業した時は国文学の書店でしたが、両親が引き継いでからは洋書専門店になり、英米文学の書物を輸入し販売しておりました。インターネットで本を購入できる時代になり、北沢書店は店頭での販売が難しくなり、さらに、大学の科研費で書籍を購入して頂いておりましたが、科研費がカットされる時代になり、経営が厳しくなりました。

その時にお店を2階だけにし、1階は小学館の社長が子供向けの書店として借りて下さいました。それが15年前のことです。とても素敵なお店でした。このお店は利益の目的ではなく、子どもの本の文化のために、神保町には子供の本屋があった方が良くとのことで始めて下さいました。14年ぐらい続け、一つの役割を果たしたということで4年前に撤退しました。店内は広々として、棚が低く作ってあり子どもがお母さんを探せるような設計になっています。私も子育て時期だったので大変お世話になりました。こういうお店があるこ

とが素晴らしいことだと思います。小学館はスケルトンにして店舗をお返ししますという話でしたが、絵本のワンダーランドと思えるような温かい雰囲気、絵本が色とりどりで遊園地のような楽しいお店なので、絶対この状態で続けたいと思いました。しかし、続けて下さる方を探しましたが、引き受けて下さる方は見つかりませんでした。お店が広いのでランディングコストが月300万円、絵本を売って利益を出せるかというとう無理なのです。絵本の利益は2割、1000円の本を売り200円の利益なので、1日10万円以上の利益は不可能です。結局、自分でやることになりました。神保町で生まれ育ち、この街が好きでお仕事は楽しくやっておりますが、日々試練でもあります。

どうしたら良いか考えてやってきました。本を販売することだけでは足りないので、カフェを併設し、スペースをお貸ししたり、イベントをたくさん開催しました。子どもたちの紙芝居、読み聞かせ、手話教室、コンサートなどいろんなことをやってきました。ただ、コロナが感染拡大してからの日々は戦いのようでした。今までは人との出会いを意識してやってきましたが、私たちのやってきたこと、やりたいことは、全て三密なのです。そのため、イベントはネット配信にし、今までとは違う形でやっております。以前は、「こんなお店があったらいいな」と思って頂きたいと思っておりましたが、今は「こんなお店がなくちゃだめだ」と思ってもらえるような必要な存在になりたいと思います。

今は地域貢献や社会貢献が絶対必要なことだと思います。例えば、子ども食堂、または、自閉症や身体の不自由なお子さんやお母様を絵本で力になりたいと思い、プロジェクトをいくつか立ち上げています。

しかし、経営のド素人で、経営の勉強をしていない私がやることになり、出版社の社長にも心配され、「経営の無免許運転」とか「壮大な部活です」などと言われたこともあります。全部その通りです。情熱だけでここまでやって参りました。もともと接客や子供が好きなので、この仕事をやることができ幸せだと思っております。

コロナ感染拡大でお客様が減少していますが、こういう時にできることは何かと考え、カフェのメニューも改良しました。安全で安心を心がけ、身体に良いものを手作りし、テイクアウトにも対応しています。コロナがなければ良かったのですが、コロナで成長した部分もあります。

1階は絵本の店舗になっていて、他2つの部屋では絵本の原画展を行っています。2階はロータリークラブの例会を開催した部屋で、スクリーンがあるので、小さな映画館やプレゼン、勉強会などが行えます。グランドピアノがあるのでコンサートもできます。

子どもが絵本に出会う場所がコンセプトです。しかし、子供が来るのは土日で、平日は大人のお客様の方が多いです。うちのお店は人が人に出会う場所、絵本に囲まれた空間で素敵なお縁で繋がってくださればと思います。また、お店で結婚式を開催したこともあります。小さな式でしたが心のこもった式でした。閉店後のお店を貸し切りプロポーズをされた方もいらっしゃいました。「絵本でご縁繋ぎパーティ」の合コンも開催し、1組結婚されました。絵本がもつ柔らかな地場で素敵なお会いが生まれる空間です。素敵なお店なので、皆様に愛され、利用して頂きたいと思っております。この街が本の街である限り、頑張ってお店を続けて参りますので皆様に応援して頂ければ嬉しく思います。